

「長野県食育推進計画（第3次）」（案）に係るパブリックコメントでの主な意見及び対応について

| 計画（案）の 該当箇所 | ご意見 | 対応 |
|------------------------------------|--|--|
| 36 ページ 【第3章 基本理念】 | ○ 食育の課題においては、持続可能な開発目標であるSDGsを基本において組み立てた方が、他の県政課題と連携がとれ、県内企業・団体との連携も進めやすいのではないかと。 | ○ 本計画は長野県総合5か年計画を推進するための個別計画ですので、長野県総合5か年計画と整合性を図り、37ページの5行目以下に「この計画は『長野県総合5か年計画』を推進するための個別計画であることから、持続可能な開発目標（SDGs）※と関連し、『すべての人に保健と福祉を』『質の高い教育をみんなに』『つくる責任つかう責任』『陸の豊かさを守ろう』『パートナーシップで目標を達成しよう』の目標達成に向けて推進します。」として記載しました。 |
| 46 ページ 【第4章 第2節 世界一の健康長寿を目指す食育】 | ○ 「若い世代への食育」だけでなく、「高齢者への食育」も取り出してもいいのではないかと。 少子高齢化で高齢化率も年々高くなり、その中で低栄養(貧血)や歯科等の取り組みも重要課題であると思われる。健康で長く地域で過ごす為に地域力も含め、高齢者の食育に目を向けることも必要と考える。 | ○ 高齢者の低栄養対策につきましては、ご意見の趣旨を踏まえ、48ページの15行目以下に ・フレイル予防に関する専門職の理解を深めるために、「長野県版フレイル予防人材育成研修プログラム」を開発・普及します。 ・高齢期の低栄養予防の取り組みについて、保健事業に係る関係者への研修により推進します ・配食事業者及び市町村と連携を図り、高齢者等に対して健康に配慮した食事の提供ができるよう情報提供や意見交換、研修等を開催します。 ・経口摂取を維持し低栄養状態に陥ることがないように、オーラルフレイルについて、フレイル対策と連動し、多職種を参集した研修の実施等による普及啓発を図ります。 の記載を追加することとしました。 |

| 計画（案）の 該当箇所 | ご意見 | 対応 |
|---|---|--|
| 51 ページ 【第4章 第3節 食の循環と地域の食を意識した食育】 | ○ 食育の視点で水産資源の問題を取り上げる必要がある。長野県は海なし県ですが、だからこそ豊かな水産加工品利用が進められてきた。（SDGs目標14）をしっかりと位置づける必要があるのではないか。 | ○ 水産資源など個別の品目等に限定せず全体的に記載しています。計画では、水産物を利用した加工品、郷土食・伝統食についても意識した食育を推進してまいります。 |
| 52 ページ 【第4章 第3節 関係機関・団体の取組】 | ○ 小売事業者（食品スーパー等）は、県民が食品に接する大きな場であることから、消費者に食に関連した健康や地域食材に関する情報提供に積極的に取り組むことを加えると、さらに情報提供のルートができるのではないか。 | ○52 ページの「関係機関・団体の取組」の9つ目の○の中に小売業者の取組として「 <u>食に関する情報の提供を進めます。</u> 」と記載することとしました。 |
| 55 ページ 【第4章 第3節 指標・目標の一覧 関係機関・団体の取組】 | ○「学校給食における県産食材の利用割合」の目標値が48%で少ないように思う。 | ○ 本県はこれまでの様々な取組の結果として、全国平均25.8%を大幅に上回る45.9%（H29）となっています。引き続き、学校給食における県産食材の利用を推進することによる目標設定としました。 |

SDGs（持続可能な開発目標）について

- 国連加盟国（193国）が、「より良き将来を実現するために今後15年かけて極度の貧困、不平等・不正義をなくし、私たちの地球を守るための計画」として、2015年9月に「アジェンダ2030」を採択。
- 「アジェンダ2030」の中核となる「持続可能な開発目標」がSDGs（Sustainable Development Goals）であり、17の目標と169のターゲットに全世界が取り組むことによって『誰も取り残されない』世界を実現するという行動目標。
- SDGsは一つの行動によって複数の課題を統合的に解決することを目指す。
- 目標達成に向けては、県民・NPO、事業者、行政機関などすべての個人・団体がSDGsを理解し、それぞれの立場で主体的に行動することが必要。

SDGs（持続可能な開発目標）

- 目標1：貧困をなくそう
- 目標2：飢餓をゼロに
- 目標3：すべての人に健康と福祉を
- 目標4：質の高い教育をみんなに
- 目標5：ジェンダー平等を実現しよう
- 目標6：安全な水とトイレを世界中に
- 目標7：エネルギーをみんなに、そしてクリーンに
- 目標8：働きがいも経済成長も
- 目標9：産業と技術革新の基盤をつくろう
- 目標10：人や国の不平等をなくそう
- 目標11：住み続けられるまちづくりを
- 目標12：つくる責任つかう責任
- 目標13：気候変動に具体的な対策を
- 目標14：海の豊かさを守ろう
- 目標15：陸の豊かさも守ろう
- 目標16：平和と公正をすべての人に
- 目標17：パートナーシップで目標を達成しよう

